

「平成25年度 一般社団法人和歌山県鍼灸師会 公益活動のご紹介」

◇第19回 adidas・紀州口熊野マラソン鍼灸ボランティア

和歌山県西牟婁郡上富田町に於いて、同マラソン実行委員会主催、産経新聞など後援のマラソン大会が平成26年2月1日(土)と2日(日)の両日開催され、健脚自慢のランナーたちが熊野路を駆け抜けました。

今年、フルマラソンと、ハーフマラソン、3キロ、2キロの計4種目で年齢別などに分け32部門で実施され、全国各地から5,324人のランナーが参加された大会となりました。



(一社)和歌山県鍼灸師会では平成18年から紀州口熊野マラソンにて鍼灸普及啓発を目的としたボランティア活動に参加しており、今回も2日(日)に会員20名でハーフマラソン・フルマラソンに参加された約160名のランナーに対して鍼灸施術をさせていただきました。平成27年の大会も参加予定にしており、ひとりでも多くの方に鍼灸の効能を体感していただき、鍼灸の発展に繋がられるよう会をあげて取り組んでいきたいと思っています。

◇県民公開講座 第10回はり・きゅう講演会

『普通救命講習会～心肺蘇生法・AED自動体外式除細動器の取り扱い～』

平成25年11月10日(日)に有田市文化福祉センターに於いて、県民公開講座『普通救命講習会』が有田市消防本部から消防職員の方をお迎えして24名の参加のもと開催されました。

過去にも救命講習を開催したことがありますが、時代と共に救命方法も進歩しており、今回、有田市消防本部のご指導により最新の救命技術を受けることができました。

初めに、消防職員の方から心肺蘇生法の説明と実技の見本を披露し



ていただき、その後、参加者1人ひとりが人形に対して心肺蘇生法にチャレンジいたしました。次に、AED自動体外式除細動器の取り扱いもご指導していただきました。



特に、心肺蘇生法では初めて経験される方も多く、圧迫する手の位置、強さ、テンポ、姿勢など実際に行ってみるとできないことが多く、参加された皆様から、このような講習をうけることができ、非常に有意義な1日であったとのご感想をいただきました。今後も皆様に喜んでいただけるような講習会を企画・計画していきたいと考えております。